

生駒市農業ビジョン推進懇話会 第13回会議録 (要点筆記)

1. 開催日時 平成31年1月24日(木) 午後3時15分～午後4時00分
(株式会社まごやさい有政氏による生駒市地産地消推進講演会終了後)
2. 開催場所 生駒市コミュニティセンター 2階 201会議室
3. 参加者 池上氏(座長) 井上氏(副座長) 浅井氏 石丸氏 上武氏
田中氏 中世古氏 中田氏 中村氏 平沼氏 山本氏(五十音順)
(事務局) 林農林課長 巽農林課課長補佐 桑田農林係員
4. 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 なし
5. 議題 (1)生駒市農業ビジョン策定のスケジュール変更について
(2)農業法人等への聞き取りについて
6. 審議内容

(1) 生駒市農業ビジョン策定のスケジュール変更について

事務局 (資料1に基づき説明)

[概要]

農業に関連する企業や事業者等から広く意見を聴き、本市の農業振興に寄与する効果的かつ具体的施策を盛り込んだビジョンとするため、農業ビジョン策定スケジュールについて3カ月繰り延べることとし、5月の推進懇話会により農業ビジョン案を決定し、パブリックコメント等の実施後、2019年10月の施行を目標としたい。

(2) 農業法人等への聞き取りについて

事務局 (資料2に基づき説明)

[概要]

農業法人並びに各種イベントの企画運営等を行っている会社にヒアリングを行った。

本市の農地は、小規模不整形地が多く、効率的に大量生産している産地に価格等では対抗できないが、近年は低価格志向ばかりでなく、農産物に対して、味・安全性・ストーリー性など多様な価値を認める消費者も増加してきているので、そのような点を訴求していくスタイルを模索してはどうか。

農地・住居・農機具がセットで購入または賃借できると、新規就農のハードルが下がる。

農業と企業、農業と福祉など、農業と様々な団体・事業等が結びつくようになってきている。本市の多様な住民と農業が協働することで、農業を含んだコミュニティの活性化が図れる

以上のような意見をいただいた。

参加者 価格以外の付加価値という点で、生駒産であることは鮮度をアピールできる。しかしながら、生駒市産をアピールしようにも個々では出荷量等の点で限界があり、スーパー等でコーナーを設置してもらえない。ある程度の組織化や基盤構築が必要ではないか。

参加者 株式会社まごやさいの講演内容は、だれがやるのかということは置いておいて、自給的農家等の野菜を販売流通に乗せる点で、生駒市に適した内容であったと思うが、主業農家を対象とした儲かる農業についての施策も忘れないでほしい。